

校訓 「くじけるな のびよ身と心 大望をもて」



あかぎ

赤木名の子らよ、大木になれ・七本のあかぎ

4月号 平成29年4月27日(木)発行

《いのち チャレンジ(挑戦) 感動 感謝》

玉, 黄金, ふでてためになれ 島の宝!

校長 前田 和洋

フェリーで赴任する際、私は興奮で4時ごろから目が覚め、近づいてくる島影をみつめていました。9年ぶりのふるさと奄美での勤務であり、さらに学校長という重責を担い、赤木名小学校の学校経営に携わることに身の引き締まる思いでした。

あれから3週間。114名の子どもたちから元気をもらい、保護者や地域の皆様からも温かい言葉をかけていただいています。その日々の中で、まず感激したことは、立哨指導で校門前の信号機の所に立っている時、子どもたちが「うがみんしょうろ」とあいさつしてくれたことです。6年生の男子からは、「校長先生。島では、『おはよう』のことを『うがみんしょうろ』と言うんですよ。」と教えられました。私は宇検村の出身で、田検小学校、田検中学校の卒業ですが、その当時は学校の今週の生活努力点で「方言を使わないようにしましょう。」という文言が何度も使われました。そのせいもあるのか、私自身島口を聞き取ることはできるのですが、使うのはうまくありません。ところが本校の子どもたちは、普通に使いこなし、島唄の唄者もいるということです。これは、各地域や教職員の先輩方による奄美の教育の成果だと心から感謝する思いです。

それ以外では、私も各集落の豊年祭で相撲をとったり、チヂンを叩きながら老若男女で夜遅くまで八月踊りに参加したり、仮装して夜どおしの種おろしで各家庭を回ったりしました。

私の学校経営の最重点は、子どもたちの学力向上と心身の発達と健康ですが、長期目標の中に「ふるさと赤木名を愛し、誇りにする子ども」の育成を掲げたいと思います。いずれ巣立っていく子どもたちに、ふるさと赤木名で育ったことを誇りにして巣立ってほしいとの願いからです。職員一丸となって、「赤木名小学校の子どもたちを光に」するための教育に邁進していきます。

そのためにも、地域の中の赤木名小学校、地域で育つ子どもたちとして、家庭、地域、学校が密接に連携した学校経営を目指していきます。今後とも保護者や地域の御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。

また6日(木)の始業式では、子どもたちに2つのお願いもしました。

1つ目は「何事にも挑戦する」ということです。

子どもたちの可能性は無限です。勉強、運動、読書でも何にでも目標を立て、計画的にチャレンジしてほしいと思います。子どもたちはちょっとしたことでも、その才能を開かせることができます。子どもたちの頑張りに期待するとともに、私たち教師も精一杯のサポートをしていくこととお約束します。

2つ目は「命を大切にする」ということです。

子どもたちの周りには、様々な危険が潜んでいます。交通事故、水難事故、地震、津波、火災や不審者による被害等の他、病気や怪我などです。自分自身も辛いですが、家族や周囲の方々も大きなダメージになります。事件や事故、病気に気を付けて全員が元気に登校してほしいです。

この二つの願いも叶うよう頑張ってください。重ねて、保護者、地域の皆様の御理解、御協力をお願いいたします。

【平成29年度の学校経営について】

赤木名の子らよ、大木になれ

○ 児童数・職員数：1年生17名、2年生20名、3年生29名、4年生13名
5年生15名、6年生20名、計114名 教職員15名

○ 学校目標：

「豊かな心と自ら学ぶ意欲をもち、21世紀を担う力を備えた、心身ともに健康でたくましい子どもを育てる。」

○ 重点努力事項

1 学習指導の充実(学力向上アクションプランの工夫・改善)(授業力の向上)

単元テスト通過率(目標:80%以上)、CRT学力検査(目標:全国平均以上)

鹿児島学習定着度調査(目標:県平均以上)

2 生徒指導の充実(いのちの教育、いじめ・不登校・問題行動等の防止、早期発見、即対応等)

3 保健指導の充実(体力向上促進計画に基づく継続的な体力・気力づくりの充実)

4 郷土教育の充実(島唄・島口、美ら島運動の充実等)

5 幼・小・中連携教育の推進(幼稚園・保育所・赤木名中との連携)

6 花いっぱい運動の推進、ボランティア活動の推進

学校目標をもとに、6つの重点努力事項の充実を目指して、師弟同行の精神で、全職員一体となり、保護者並びに地域の皆様と連携して、教育活動を推進してまいります。御協力をよろしくお願いいたします。

